

### 3. ‘SmILE’ 燃料節約技術

トピック：グリーンピースによる新技術開発とその過程

#### 特徴

より少ない資源で自動車の燃料消費をこれまでの半分に抑える技術を開発し、こうした sustainable transport を可能にする技術を積極的に宣伝することで、当該開発技術を用いた自動車を販売ラインにまで載せることに成功した。

#### <プロジェクトのコンセプト・技術・宣伝>

グリーンピースの‘SmILE’プロジェクトは、利用可能な最高の技術を用いてより資源消費の少ない製品・サービスに絶えず置き換えてゆくことが sustainability の主要な支えであるという信念の下、自動車の燃料消費および二酸化炭素排出量が半分に抑えられることを証明した。

この‘SmILE’に用いられる技術は、ガソリンを燃料とする自動車であればすべての車に適用することができ、より少ない資源で、かつ既存のインフラ・生産設備に若干の改良を加えるだけで、燃料消費の大幅な改善を可能とした。

プロジェクトの技術的な特徴としては、改良されたガソリン・エンジン、車体重量の削減、発達した空気力学の利用、（路面との？）摩擦抵抗の減少が挙げられる。このエンジンを用いることで 35%の燃料を節約でき、また 15%の燃料を削減することに成功し、合計で 5 割の燃料削減を達成した。キャンペーンでは、「現在では半分にすることが可能（"Half is feasible now"）」という宣伝文句を使っている。

‘SmILE’プロジェクトのもう一つの側面は、公共のキャンペーンである。その目的は、sustainable transport を可能にする技術の可能性に対する人々の注意を喚起することである。

#### <プロジェクトの成果>

1996 年に‘SmILE’プロジェクトが初公開された当初は、3-litre car など商業的に生産されるはずもなく、売れもしないという声もあったが、このプロジェクトは見事にこの風説を破り、99 年に大手自動車メーカーが‘SmILE’プロジェクトの成果を利用して製造した 3-litre car を販売したのである。

こうした成果は、よりよい自動車を開発しようと時間・知恵・労力を惜しむことなく献身的にプロジェクトに取り組んだ多くの研究者たちの努力の賜物であり、これにより、グリーンピースは、産業経済の領域でも大きな貢献を果たしたといえる。

・(仮訳)

・(出典)Synthesis Report of the OECD project on Environmentally Sustainable Transport EST presented on occasion of the International est! Conference 4th to 6th October 2000 in Vienna, Austria.